

令和6年度外部評価「核融合科学学際連携センター先端学術連携研究部門」「外部資金」
の評価の観点（案）

令和6年度に実施する「核融合科学学際連携センター先端学術連携研究部門」「外部資金」に関する外部評価について、その評価の観点を下記のとおり定める。評価の観点の各項目は、核融合科学研究所が大学共同利用機関として実施してきた研究等の活動の妥当性と達成度の評価を基本としつつ、令和3年度～令和5年度に取りまとめられた「今後の核融合科学研究所の在り方についての提言」、「今後の共同研究の在り方についての提言」、「今後の大型研究施設計画の在り方についての提言」に照らした今後の方向性と戦略をも問うものとする。

なお、令和5年度に実施された「核融合科学学際連携センター産学官連携部門」、「ユニット体制」の外部評価において、報告書に「提言」として示された、次の点も今回の評価の参考とする。

【令和5年度外部評価における提言】

競争的資金の少なさは、ここ数年常に問題となっている。特効薬はないが、NIFSの各メンバーは互いに学び合い、核融合科学の学際的发展のために進行中の改革を契機として、外部資金調達の方法を考え出すべきである。資金調達の規模と枠組みに応じた戦略的アプローチが必要である。また、コミュニティと共有する大規模プラットフォームの予算を確保するための組織的な努力も不可欠である。

記

1. 核融合科学学際連携センター先端学術連携研究部門

- (1) 部門の活動により、どのような先端学術分野との連携が構築されているか。
- (2) 部門の戦略は、研究所の基本方針である「核融合科学の学際化」を先端学術連携の観点から活かし、またこれを促すものとなっているか。
- (3) 研究ネットワークの構築、異分野連携、国際共同研究の推進を支援するための体制を整備し、動向調査、調整、外部資金獲得支援などを担う取組を進めているか。
- (4) 特に、ユニットと大学の連携・協力の支援を推進しているか。
- (5) オープンサイエンスの推進を支援しているか、そのための体制は整っているか。

※「今後の大型研究施設計画の在り方についての提言」の「5. 萌芽的あるいは未来的な中小規模研究との連携の観点から」に記された核融合科学学際連携センターへの期待に留意いただきたい。

2. 外部資金

- (1) 科研費に代表される外部資金の獲得状況動向はどうであるか。
- (2) 外部資金の情報収集、着手や段階的な大型化を促す制度整備など、所員による外部資金獲得を有効に支援しているか。
- (3) 外部資金の獲得状況を分析し、改善に向けた指針と目標を策定しているか。
- (4) 大学と協力してコミュニティ全体の外部資金獲得に貢献しているか。